

ながよ 町議会

NAGAYO TOWN
ASSEMBLY
NEWSLETTER

No.
150

平成26年7月16日発行
長崎県長与町議会

6月定例会

- ◎長与小学校グラウンド整備工事に着手 2
- ◎学童保育連絡協議会との住民懇談会を開催 3
- ◎15人が問う一般質問 6~21
- ◎意見書2件を採択 23

✉
だより



町民の方からの提供写真



昔も今も長与駅は町民の交通の源

長与小学校グラウンド整備工事に着手

今回の一般会計補正予算は2億1900万円を追加し総額124億3100万円となります。

**全会一致
可決**

費目	補正の主な内容	補正額
総務管理費	図書館建設推進専門員報酬（1人）	180万円
総務管理費	コミュニティ助成補助金	160万円
社会福祉費	臨時福祉給付金・子育て世帯臨時特例給付金	1億2700万円
老人福祉費	スプリングラー設置補助金	800万円
住宅費	リフォーム支援補助金	910万円
小学校費	グラウンド整備事業費	6300万円

26年度第2回定例会を6月4日から13日まで開きました。26年度一般会計補正予算など議案12件を慎重に審議し全議案を可決しました。また請願1件を採択し意見書2件を可決しました。

問 図書館建設推進専門員の仕事は何か。

答 庁舎内のプロジェクトチームのリーダー的役割を担う。

問 スプリングラー設置補助金は何カ所分か。

答 1施設分である。残り1施設が未設置である。

問 長与小学校グラウンド整備はなぜ補正予算なのか。当初予算でよかったのではないか。

答 予算全体のことを考えた。来年の運動会に間に合わせたい。

問 武道館裏の駐車場スペースに学童施設は造れないか。

答 グラウンドの不用な場所を確定していないので、現時点では答えられない。



問 町内常用雇用者を10人以上としたのはなぜか。

答 雇用の促進を図るため。

問 内定している大型商業施設に対して条例改正は利益供与になるのではないか。

答 雇用拡大と定住人口の増加を大きな目的としている。

問 榎の鼻に進出する大型施設以外で適用する施設は予測しているか。

答 業種を増やしているので促進を図りたい。

可決

賛成14：反対4

企業誘致と雇用拡大を促進

長与町工場等設置奨励条例を改正

概要

○長与港西側埋立地の条件を全町へ、適用業種を製造業、卸売業、小売業、教育支援業、医療福祉に拡大し振興を図る。

○町内常用雇用者を10人以上とする。

反対討論

- ・榎の鼻開発を意識しての条例改正ではないか。（西田）
- ・進出が内定している特定企業に対し、条例を改正して固定資産税免除を行うことは問題である。（河野・堤）
- ・新たにcoming、力が強い企業が優遇され既存の小売店は不利な競争を強いられる。（森）

賛成討論

- ・町内雇用者を明記し積極的に雇用の確保に向けた取り組みである。
- ・若者の町外流出に待ったをかける取り組みと理解でき、経済活性化、定住人口増加が期待できる。（分部）

可決

住居明渡しと未払家賃請求の訴え

賛成15・反対3

○概要

住民Aは、町営住宅の家賃を17年1月分から滞納し、再三の催告にも応じなかった。よって、住居の明渡しと未払家賃支払いの請求を訴えるに至った。訴訟方針は、明渡し等を求めていき、状況・条件次第では和解も考慮するというもの。

町は、町営住宅利用者に対し、公平で適正な負担を求め厳正に対処する考えだ。

人事案件

○固定資産評価審査委員の選任に同意

新任 林田 茂氏 (吉無田郷)

○人権擁護委員の推薦に同意

再任 後藤 典子氏 (高田郷)

○農業委員会委員の推薦に同意

再任 山口 益子氏 (高田郷)

新任 柿本 香代氏 (本川内郷)

再任・新任された委員の皆様の今後の益々の活躍を期待します。

問 収入は把握しているのか。

答 ここ2〜3年収入報告書の提出が少なく、収入の把握ができていない。

問 督促はどれほど行ったのか。

答 毎月未納時に納付書を送付した。

問 話し合いはしていないのか。

答 何度も訪ね話し合った。

問 管理部門と福祉部門の協議後、どのような対処を講じたのか。

答 生活困窮者には生活保護等を説明し、緊急性がある場合は、ケースワーカーに相談し生活保護給付の手続きを進める。緊急性がない場合は、相談を受けてからの対応となる。本件は、緊急性はないので町からの保護申請や相談はしなかった。

反対討論

・生活全般を健全化する町の対応が十分ではない。(河野)

・生活状況や収入が分からないままに提訴するのは不十分だ。(安部)

賛成討論

・放置しても滞納賃料が積み重なり、担当課の負担になる。(安藤)

・生存権を生かす本人の努力がなかった。(森)

・多くの入居待ちがいる。良質な入居者を入居させるべきだ。(書々津)

・生活の実態が把握できない点を裁判で明らかにすべきだ。(佐藤)

町議会では4月10日、長与町学童保育連絡協議会(以下、協議会)と議会議員の懇談会を約1時間30分行いました。議会基本条例制定以来初めてとなった今回は、「学童保育の現状と将来」を中心に意見交換を行いました。

住民懇談会を開催

まず、協議会側から、学童保育の制度と町の現状、学童保育の果たす役割について説明がありました。制度については、協議会で作成された、「学童保育の基準の条例素案」も示されました。

また、「今、困っていること」として、各施設の問題点や改善の要望が各指導者から出されました。

議員からは、細かく現状を尋ねたり、条例素案の内容、協議会から町への要望などに対する経過など、活発な意見交換を行うことができました。現状と課題について提起がされ、熱のこもった活発な議論が展開されました。

今回の懇談会で受けた要望などは、各議員が議会活動や委員会審査などで活かしていきます。

出席者
学童保育連絡協議会
関係者 24名
議会議員 14名



長与町に「ごみ焼却施設」誕生へ

長与町斉藤郷に建設中のごみ焼却施設が、27年4月1日から稼働予定です。これまで長崎市に委託していた可燃ごみの処理を長与・時津両町が共同で行います。

○事業の概要

【事業名】長与・時津環境施設組合熱回収施設整備・運営事業

【事業方式】公設民営方式（DBO方式）

【事業期間】

設計、建設期間

25年5月20日～27年3月31日

運営、維持管理業務委託期間

27年4月1日～47年3月31日

施設の使用期間 25年間

○施設の概要

【敷地面積】約10000㎡

【焼却処理方式】ストーカ炉（縦型ストーカ炉）

【処理能力】日量54ト（27ト×2炉）

【処理対象物】

可燃ごみ、可燃性粗大ごみ、

時津クリーンセンター選別可燃性物、清掃ごみ、災害廃棄物

【焼却灰の処理】セメント原料化など

【余熱利用】場内空調（冷暖房）、場内給湯、足湯等

【併設施設】管理棟、可燃性粗大ごみ・草木類ストックヤード

【排水処理】工場棟内汚水/クローズドシステム（無放流）

生活排水 / 下水道へ放流

【公害防止基準】

排ガスについては、国の規制値よりもさらに厳しい自主規制値を設定

騒音、振動、悪臭等については、環境基準値以下での運転実施



26年度末完成をめざし急ピッチで工事中
写真提供：長与・時津環境施設組合



完成予想図

追跡 図書館はどこに

老朽化した図書館をどうするのか。長与町議会の一般質問でも議論が交わされました。

今回25年9月議会から26年3月議会までの議論と、町の答弁を追跡しました。



① 25年9月

質問 いよいよ建設が実現する時期にきたと思われる。今後、建設に向けてより具体的な取り組みが開始されると考えるが、どのような図書館づくりを考えているのか。

答弁 昨年立ち上げた図書館整備計画検討委員会において、検討を続けている。

昨年度は先進地の視察、フリートークキングやアンケート調査などを行い、各委員のイメージ・認識の共有化を図った。今年度からは、作業がより具体的に進むよう、2つの部会に分けて協議を開催している。具体的な論議を深め、世代を超えた多くの人に喜んで利用してもらえようという「開かれた図書館」を目指していきたい。

② 25年12月

質問 コンパクトシティ構想委員会から出された答申に榎の鼻土地区画整理事業地内の公益用地を候補地としている。結論は。

答弁 早急に決定したい。

質問 土地購入はどのようにして履行するのか。

答弁 組合からの申し入れで23年8月29日に購入する旨回答している。

③ 25年12月

質問 総合開発審議会から答申が出ている。どう進めるのか。

答弁 答申を吟味し、建設場所を決定する。

質問 長崎せいひ農協長与支店と、榎の鼻土地区画整理事業地内が最終候補地に残っている。このどちらかに決定するのか。

答弁 大きな候補地であると考ええる。

質問 民有地（長崎せいひ農協長与支店）を勝手に候補地にしてよいのか。

答弁 議会でのやり取り、議員からの提案もあり適地ではないかという判断をした。

④ 25年12月

質問 建設位置は平坦地にあり、公共交通機関に恵まれ、歩いて行ける位置にあるべきである。農協の長与支店の位置を第一と決定し進めていく考えはないか。

答弁 コンパクトシティ構想推進委員会答申によれば候補地として、長崎せいひ農協長与支店と榎の鼻土地区画整理事業地内の2箇所が推薦されている。その内容を十分に吟味速やかに決定したい。

質問 新図書館の整備方針はどうか。

答弁 長与町図書館整備計画検討委員会で検討中。基本構想として『生涯学習の拠点、憩いと交流の拠点』とし、建物は、延べ床面積3千㎡、蔵書数22万冊程度を想定している。

⑤ 26年3月

質問 新図書館はどこに建築するのか。

答弁 榎の鼻土地区画整理事業地内の公益用地に建設する。

質問 生涯学習センターと合築か。

答弁 図書館機能に加え、多機能を有する建物を考えている。

町長が図書館建設用地決断

26年3月議会冒頭の施政方針で、榎の鼻団地内に図書館建設の意向を表明。今後プロジェクトチームを立ち上げ具体的な検討がスタートします。



榎の鼻土地区画整理事業地

15人が問う

竹中 悟 議員 7P

- ①町長のリーダーシップについて

岩永 政則 議員 8P

- ①道路の整備と維持管理及び子ども等の安全対策について

山口 憲一郎 議員 9P

- ①長与町の農林水産業の活性化について

川井 哲雄 議員 10P

- ①『長与小学校旧校舎跡地』について
- ②『長崎がんばらんば国体』について
- ③『長崎がんばらんば大会』について

分部 和弘 議員 11P

- ①町の学校教育について
- ②高齢化が進む中での町の交通施策について
- ③町の農業振興について

饗庭 敦子 議員 12P

- ①長与町の子育て支援について

西岡 克之 議員 13P

- ①農業政策について
- ②福祉政策について
- ③本町の公共工事について

金子 恵 議員 14P

- ①町民主役の町政について

河野 龍二 議員 15P

- ①新図書館建設用地について
- ②町内の交通渋滞対策について
- ③自治会加入の推進について

堤 理志 議員 16P

- ①生活環境の整備に関する諸問題について
- ②商店リニューアルへの助成制度創設について

森 謙二 議員 17P

- ①自治会加入率の促進策について
- ②介護サービスの施策について

内村 博法 議員 18P

- ①図書館等の公共施設の総合管理計画について
- ②介護施設の充実等について
- ③教育委員会制度改革について

喜々津 英世 議員 19P

- ①フッ化物洗口推進について
- ②通学路の安全確保対策について
- ③国体における民泊への取り組みについて

吉岡 清彦 議員 20P

- ①今、長与の行政において何が問題かについて
- ②安心・安全な、あるいは便利なまちづくりについて
- ③文化・体育の振興策について

佐藤 昇 議員 21P

- ①manifestoの検証会について
- ②図書館建設について
- ③長与町の財政について

一般質問

質問は、行財政全般にわたって議員主導の政策論議をするもので、議員も執行側も十分な準備を必要とすることから、事前通告制です。

制限時間60分の範囲内で、一問一答制をとっています。

一般質問の記事

質問した議員が執筆したものです。

原稿は、原則として1000文字以内で要約したもので、原文を尊重して掲載しています。

会議録の閲覧

会議録は、長与町図書館、長与北部地区多目的研修集会施設、高田地区公民館、上長与地区公民館、長与町ホームページで閲覧できます。



たけなか さとる
竹中 悟
議員

Q 丁寧な施政方針を示せ

A 要約しているが件数は増加した

議員 前任者など過去の施政方針からすれば簡素化されている。予算規模122億円

住民4万2千人に対し、丁寧な説明書になるよう考えるべきではないのか。

町長 簡略化しわかりやすく要約して載せている。ページ数は減っているが件数は43件と増えている。

議員 内容に関し、分かりにくい。例えば、図書館用地1万㎡の購入計画はどうなっているのか。

企画振興部長 価格は組合と協議する。費用はできるだけ補助対象になるよう検討していく。

議員 26年度購入と聞いているがどうか。

副町長 町有地では補助対象にならないため公社での購入も考えられる。今後、対象になるよう財源は内部で検討していく。

議員 図書館建設検討委員会を設置するが具体的にどのようなものか。

政策推進課長 今議会後、建設に関わるプロジェクト

ムを立ち上げ構想を練り、その後検討委員会を設置する。

議員 県推進結婚事業の進行状況はどうか。

課長 婚活相談を2カ月で4回開催している。登録48人、見合いは3件している。

議員 再任用制度の成果および問題点は何か。

総務課長 25年度16人退職者中、館長3人、常時勤務4人、短時間勤務6人となっている。今後、定年延長により対応が変わってくるのが予想される。

議員 常設回収拠点の増設と改善とあるが具体案を示せ。

生活福祉部理事 3カ所増設する。今年度は自治会長にアンケート調査を実施し、設置場所などの要望を聞いている。

議員 都市計画道路西高田線および高田南土地地区画整理事業の進捗状況はどうか。

都市整備課長 29年度完成に向け進めているが、期間がな

南部広域水道事業

議員 長崎県南部広域水道事業団解散に伴う今後の水道事業に対する考え方はどうか。

水道局長 不足する水量を予測する「中長期計画」を策定後、経営状況を考慮しながら具体的な計画を推進していく。

議員 解散に伴い出資金、起債の償還が発生し現況の取水率で按分されると聞いているが、これで決裁するのか。

町長 企業団解散の発端となった長崎市に対し他市町と連携を図り、長与町の負担軽減となるよう負担割合について理解を求めていく。



施政方針について



いわなが まさのり
岩永 政則
議員

Q 北小学校の未整備歩道の整備を

A 安全性確保のため検討する

議員 子どもなどの安全対策について、長与北小正門から舟津橋方向への水田側に、約2mの歩道が設置されている。これにより道路と歩道が分離され子どもを含む地域住民の安全が確保されてきた。

ところが一部歩道が整備されていない区間がある。早急に整備が必要であるがどうか。

町長 6m程の未整備の所は個人所有の土地となっている。何度か所有者と協議を行っているが合意に達しておらず現在に至っている。

議員 この歩道整備が今まで放置されてきた理由は、隣接地主との境界の問題であったと聞いている。ところが、先般来この隣接者との協議により解決したとのことである。よって早急に用地買収、歩道の施工をすると確認してよいか。

建設部長 安全性を確保するため、警察とも協議しながらより良い方法を検討していきたい。

毛屋中道線の側溝

議員 町民の日常生活の中で、人々の行動手段としての道路は、最も身近な公共施設として大切な役割を担っている。町道については、市町村が認定（議会の議決が必要）

・維持管理することになっている。道路の種類には、1級町道、2級町道、その他の道路に区分されている。現在町内の道路の種類別路線数ならびに認定基準はどのようなになっているのか。

町長 1級町道14、2級町



整備が望まれる北小学校の通学路

道12、その他の道路751路線となっている。認定は長与町道路認定基準要綱に基づいて行っている。

議員 船津橋から北小・斉藤を通り時津町へと抜ける道路は、近年交通量が増加しているようであり、一日当たりの交通量は把握しているのか。またこの路線の整備計画はどのようなになっているのか。

町長 交通量調査や整備計画の策定は行っていない。以前から可能なところは側溝などの整備を行ってきた。改良

所は現地を精査し行っていくたい。

議員 毛屋中道線の道路は3mに満たない状況にある。側溝がないため雨天時には道路は水浸しとなり、住民は困っていると聞いている。早急に側溝の整備ができないか。

町長 この町道は4m未満の所もあり、以前地域から要望があり地元説明会を行い、改良に向けた交渉を始めたが、地権者と合意に至らなかったため、工事を中止した経緯がある。



やまぐち けんいちろう
山口 憲一郎
議員

Q 農林水産業に活力を

A 関係機関と連携し活性化に努力

議員 町の林業の現状と森の自然環境の保全について、町の対応はどのようになっているか。

町長 木材の輸入自由化などにより、木を伐採し販売すると赤字になるような厳しい状況にある。また、保全活動については緑の羽根募金などを通じて、自然を守り育てる活動や意識啓発を図っている。

議員 町の3分の1を占める森林は、自然災害の防止の役目を持っているが、治山の観点から、どのような対応を行っているか。

町長 急傾斜や土砂崩壊の危険性のある山林については、保安林を守るという観点から副次的に住宅や道路を守る効果が見込まれる危険箇所については、具体的に検討を行っている。

議員 荒廃する森林の活用策として、太陽光を設置する考えはないか。

農業委員会事務局長 町の森林は傾斜地が多く、太陽光設置に向きとも思われるが、そのような考えがあることは承知

しておきたい。

水産業の振興

議員 町の漁場は大村湾に限られるが、育てる漁業など、どのように取り組んでいるか。

町長 漁場の環境改善活動として、環境・生態系保全対策事業を実施してきた。

また、25年度からは、水産多面的機能発揮対策事業に取り組み、海底耕うん・客土・アナアオサなどの除去活動を

実施している。これらの漁場の環境改善活動と並行して、

つくり育てる漁場の振興策として、稚魚の放流事業を行う栽培漁業や、カキの養殖などの養殖漁業にも取り組んでおり、町も支援している。

議員 舟津の漁船係留場が浅くなっており、困っているとのことであるが、どのように対応しているか。

農林水産課長 河川の問題でもあり、町で測量を行い、県に要望を行っている。

農業の振興

議員 農業者の高齢化や担い手不足、耕作放棄地の増加などの課題解消に向けて、人・農地プランが検討されているが、進捗状況はどのようになっているか。

町長 町内には28の農業集落があり、プラン作成に当たっては、この集落を12地域に分けて推進を図っている。昨年は、12地域のうち7地域でプランの策定が完了した。

議員 鳥獣被害について、どのような対応を行っているか。

町長 防護対策として21年度から、電気柵、ワイヤーメッシュ柵などの整備を図ってきた。また、捕獲対策としては、猟友会と有害鳥獣委託を行い、町内全域の捕獲に取り組んでいる。



早急な係留場の整備を



かわい てつ お
川井 哲雄
議員

Q どうする長与小旧校舎跡地の整備

A 26年度中に完了したい

議員 住民は早急な長与小学校跡地整備を期待しているが、進捗状況はどのようになっているのか。

教育長 下のグラウンドに新校舎を建設した後、旧校舎を解体しグラウンドとして整備するまでが作業工程であり、まだその途上である。

議員 いつごろ完了するのか。

教育長 今定例会に補正予算を計上しているので、議会の承認が得られたら26年度中に完了する。

議員 跡地の活用についてはどのように考えているのか。

教育長 ここは、教育用地であり、整備が完成したら小学校のグラウンドとして活用する。体育など日々の授業はもちろん、運動会や放課後スポーツクラブ教室などで利用する。また、コミュニティ活動など地域への開放や児童クラブなどの利用も考えている。武



旧校舎跡地整備工事が始まります

道館裏の部分には駐車場を確保し、確定申告時や各種行事の際の臨時駐車場とする。

議員 日々の授業に利用するには、児童が道路を横断するため、交通事故などの危険性があるのではないか。

教育長 授業数が少なく5、6歩で渡れる距離でもあり、担任が誘導する。安全性には十分に配慮する。

議員 武道館裏を役場利用者の利便性向上のために、役場第二駐車場としてはどうか。

教育長 常時使用は考えていない。

議員 役場第二駐車場とするよう町長から教育委員会に打診はできないか。

町長 利用状況を見て検討する。

Q 国体開催までの計画は順調か

A 順調に準備業務が進捗している

議員 長崎がんばらんば国体開催までの進捗状況と計画はどのようになっているのか。

町長 準備業務の各種計画、要項、要領等については町の実行委員会において本年3月までに全ての策定を完了している。また、6月に売店出店者の申し込み締め切り、8月にボランティアの出欠意向調査、9月には組み合わせ抽選会と会場の仮設業務を行う。

議員 テント売店での火気使用における事故が起きているが管理体制は大丈夫なのか。

企画振興部理事 売店監督員を

置き監督する。

議員 各自治会のチームへの応援態勢は、試合日を指定した方が公平な応援数となるのではないか。

理事 チームと住民の絆を重視する応援態勢とした。



選手も審判員も一生懸命です

Q どうなるがんばらんば大会の運営

A 県との連携を密に図っている

議員 長崎がんばらんば大会の運営体制は、国体と同じようになるのか。

町長 大会は県が主催で、チーム担当および輸送担当は県が行う。その他は町の職員で構成する。



わけ べ かずひろ
分部 和弘
議員

Q 全国統一学力テスト成績公表は

A 町全体の結果公表には同意

議員 全国統一学力テスト成績公表における、現在の状況はどのようになっているのか。

教育長 結果の公表について、県下全体としてどのように取り扱うか、県教委と最終的な協議をしている。本町としては、町全体の結果公表には同意せざるを得ないが、学校ごとの結果公表については、同意せず、町教委としても公表しない方針である。

議員 学校外の教育環境（通学路・塾など）についてはどうか。

教育長 通学路については、小学校区ごとの危険箇所点検後に改善の要望が出される。それを受けて現地を確認し、所管部署に改善を要請し、各学校に一層の注意喚起を促し安全確保に努める。

議員 学校教育における、消費税増税後の対応はどのようになっているのか。

教育長 給食費については、質を落とさずに運営するため、どうしても月額100円から150円の値上げを行う

た。また、修学旅行については、企画の段階で例年踏襲という安易な方法ではなく、色々な知恵を出しながら、できるだけ費用を抑える。

Q 高齢者を想定した交通施策は A コミュニティバス などを導入

議員 バス路線の今後の考
え方についてはどうか。
町長 今後、榎の鼻区画整



高齢者にやさしい 交通施策を

理区域への住宅建設や商業施設の進出が想定されており、新たな交通需要を見極めながら、新規路線の開拓や既存路線の見直しなど、既存住宅地の居住者を含めた住民の利便性の確保・向上を目指し、バス事業者と緊密な連携を図っていきたくと考えている。

議員 便利な公共交通システム
の構築と利便性の向上を
どのように行っていくのか。
町長 利便性向上について

は、これからも引き続きJR九州へ要望をしていく。また、町内各地からJR各駅へのアクセスについても、例えば、バスとJR間の乗り継ぎの利便性向上などにも努めたいと考える。

議員 高齢者を想定した町独自の交通施策は考えられないのか。

町長 榎の鼻区画整理区域への図書館の建設や商業施設などの進出状況を見ながら、高齢者の利便性に配慮したコミュニティバス、乗合タクシーなどの導入に向け、引き続き取り組んでいく。

Q 農産物の拡販は A JA長崎せいひと 連携を取り支援

議員 農産物の拡販について、今後どのように進めていくのか。

町長 生産物の大部分が出荷される販売市場への販売促進に対し、JA長崎せいひと連携を取りながら支援していく。



にしおか かつゆき
西岡 克之
議員

Q 6次産業化で農業活性化を

A 町も支援を行う

議員 本町農業は農産物を生産し、そのまま販売することが大半で、加工をし、付加価値を付けて販売まで行う「6次産業化」を

目指して農業者の所得向上を図るべきと感じるがどうか。

町長 現在生活改善グループに補助をし、柚子こしやジャム類の生産加工、販売を行っている。また一部地域では生絞りミカンジュースの試作品を作製し、アンケート調査も実施して販売方法などを検討している。オリーブについては協議会を立ち上げ、加工委託は町外業者に依頼している。今後は農作物の「6次産業化」を目指して取り組む。



6次産業化するか 生絞りジュース

Q 始まるぞ、子ども子育て支援制度

A 県国と連携し子育て支援

議員 来年度から始まる子ども・子育て新支援制度についてどのような準備をしているか。

るか。

町長 条例に基づき「長与子ども子育て会議」を設置しており、最初の会議を5月末に開催した。今後計画策定に向けて進める。

議員 認定こども園開設に向けての問い合わせなどはないか。

町長 相談は受けているが、町としては保育見込み量の検討をしているので、体制はまだ決まっていない。支援策については国、県の補助事業を活用していきたい。

議員 新制度では学校教育についても触れているが、教

育委員会との連携は取れているか。

教育長 今までは義務教育終了後の各生徒のことを考えて教育についてスタンスをとっていたが今後は義務教育に入る以前のことも考えて教育に取り組まなければと考える。

児童クラブ定員

議員 放課後児童クラブの定員過剰問題についてその後の経過はどうか。

町長 町内の保育園で新規開設に向けて検討してもらっているが、さまざまな理由で開設できていない。今後も定員過剰問題解消に向けて努力する。



進まない過剰人員分割

議員 この問題は児童クラブの保護者と議会が話し合った。また要望書を所管課に提出するなど熱心に解決を望んでいる。早急に解決すべきではないか。

福祉課長 解決に向けて努力する。

Q 本町の公共工事契約は公正か

A 適正に対応している

議員 南島原市で起きた官製談合事件はそこに住む住民に多大な迷惑をかけたが、本町ではどのようなルールで行われているのか示せ。

町長 工事契約130万円以上のもは指名競争入札。5000万円以上は議会承認後、本契約となる。130万円以下は随意契約で、2社以上見積りを取り安価な方と契約となる。



かねこ めぐみ
金子 恵
議員

Q いくらかかる 国体準備費用

A 町持ち出しは2億8千万円

議員 国体の準備に掛かった費用はいくらか。

企画振興部理事 26年度予算ベースで県補助金7512万円。町の持ち出しは2億8千万円である。

議員 昨年のリハーサル大会で豚汁、無料ドリンクサービスの振る舞いをしたが、国体も同様か。

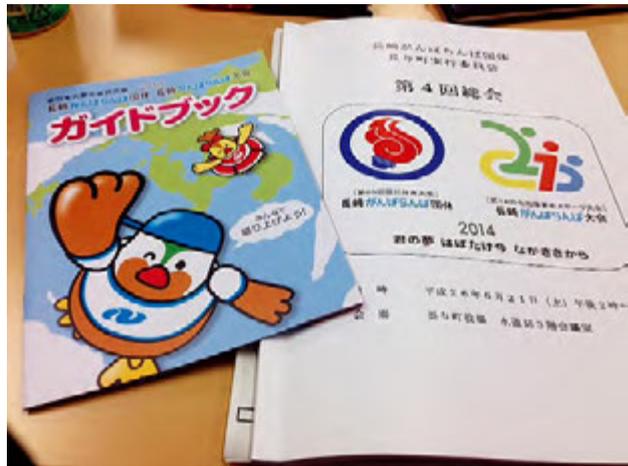
理事 ①花いっぱいでのお迎え②応援旗③地域・学校応援団④無料ドリンクサービス、豚汁のサービスなどを行う。

議員 無料の振る舞いがあったことで売店出店者が大変な赤字になったと聞いた。配慮はしなかったのか。

理事 指摘通り、出店者から苦情がきた。有名選手目当ての来場であり売店に目が向いていなかった上、場所的にも配慮がなかった。

議員 宇部市では振る舞いがあったという記憶はない。過度のおもてなしになっていないか。

理事 宇部市のおもてなしはなすぎ過ぎた。岐阜・揖斐川



納得のいく「おもてなし」と負担のない住民参加で成功させよう

町は、今回長与町がしようとするおもてなしはすべてやっていた。また、民泊による選手との交流も行っていた。

議員 5月に始まった土曜開庁で掛かる費用はどのくらいと試算しているのか。

生活福祉部長 試算はしていないが、費用対効果以上のサービスを考えている。

議員 近隣市町の役場が開いていないことでサービスも限られるが、今後どのように

していくのか。

部長 9月の時点で住民ニーズを再度調査する。

議員 職員は代休で対応していると聞くが、取得できているのか。

部長 時期をみて半日分の休みを取るようになっている。

議員 一部の町民へのサービスに留まってしまう可能性もある。検証の時点で平日延長業務に切り替えることもできる。これは町長のマニフェ

ストにも含まれているが見解を伺う。

町長 サラリーマン世帯、共働きの多いため考えたが、検証していく中でより良いサービスは何かを考えていく。

どうなる高田踏切

議員 高田踏切周辺はどのような形になるのか。

都市整備課長 踏切手前までは事業認可されているが、踏切周辺は現在、地権者、JRと協議中である。

議員 29年度イオンが完成すると今以上の渋滞が予想される。早急な対応は考えられないのか。

建設部長 この3年間で役場前の橋からツインキャッスルまでの道路を完成させる。それと並行して協議を進めていくが3年後は厳しい。



かわの たつじ
河野 龍二
議員

Q 土地購入約束は違法では

A 違法とは言えない

議員 図書館建設を、榎の鼻区画整理保留地に決定した理由はなぜか。

町長 町内全域からの利便性。人口規模にふさわしい用地確保が可能。中心市街地活性化の中核施設として位置づけた場合の周辺環境と地理的条件から決定した。

議員 図書館建設の住民アンケートでは、図書館を利用しない理由に「行きにくい」が多数の声である。決定した場所はこれを解消できるのか。

町長 新設用地は、今後バスの乗り入れなどが予測されると思う。

議員 用地決定は、前町長の区画整理組合との、用地購入の約束があったから決めたのではないか。

議員 コンパクトシティ委員会の提言では新設用地のメリットとして「土地の購入が予定されている」と明記してある。このことは全く無視したのか。

町長 無視はしていない。



図書館建設に適地か？

議員 用地決定には、土地の購入の約束が一つの要因となっている。議会に相談なしに、土地の購入の約束をするような文書を交わすことは、違法でないか。

副町長 違法ではないと思う。

議員 違法ではないとしても、町政運営において、文書で約束されるような事態は、困るのではないか。

副町長 困るとも、困らないとも言えない。

決定は白紙に戻せ

議員 土地の購入が前提で、用地が決定されたのなら、

ら、議会に相談のない土地購入は問題だ。図書館建設用地の決定を白紙に戻すべきではないか。

町長 図書館建設に向け努力したい。

Q 渋滞解消の新設道路計画は

A 計画はあるが完成は不明

議員 朝夕の通勤時間などに渋滞する①道の尾交差点から高田バイパス入り口付近②榎の鼻交差点付近③三彩橋交差点付近の解消策はどうか。



渋滞がひどい三彩橋交差点

町長 ①国道206号も渋滞し、一体的な改良が必要であり、県と協議していきたい。

②23年度に右折車線を延長したが、交差点が連続しており改善は難しい。③主要渋滞箇所にも指定されており、長崎県交通渋滞対策協議会と議論を進めていく。

議員 新設道路の計画はあるのか。

町長 「地域高規格道路の西彼杵道路」や、「小島田・北陽台線」「長与・時津・長崎線」などの計画はあるが、いずれも完成について不明である。

Q 出産連絡を自治会にも

A 現状は難しい

議員 出産に祝い金を出す自治会がある。出産の連絡を自治会にできないか。

生活福祉部長 現段階では、出産の連絡は、難しいと思う。



つみ 志志
さとし
議員

Q 店舗リフォームを支援せよ

A この事業を含め調査・研究する

議員 小規模商店は、大量販店の進出で苦戦を強いられている。群馬県高崎市は、

店舗版の住宅リフォーム助成制度である「まちなか商店リニューアル助成事業」を開始し好調である。以前、町が実施した住宅リフォーム助成の経験からみても、商工業の活性化の可能性は極めて高い。

本町も実施する考えはないか。

町長 地元商工業者への支援の必要性は十分認識している。この事業を含め、関係機関と協議しながら、調査・研究をしていきたい。

議員 明るい店舗は消費者を呼び込む力がある。コンビニエンスストアは入口と並行に蛍光灯を並べ明るい店内を演出したり、大手小売店は、頻りに店舗リニューアルセールを繰り返したりして、購買客を呼び込む。リニューアルは集客効果、経済効果があるが町長はどう思うか。

町長 さまざまな要素がないと活性化につながらないので、今後、いろいろなことを検討していきたい。

Q 町の街路樹は安全か

A 枝の打音検査も実施

議員 神奈川県川崎市で街路樹の枝が落下し、女児が重症を負った。この枝は重さ約

20kgあり、死亡事故につながりかねない重大案件である。町には相当数の街路樹がある



地元商工業に行政の支援を

認知症対策

議員 最近、認知症に起因する徘徊や行方不明が社会問題となっている。高齢化が進んでいる団地があるが現状はどうか。

町長 高齢化率約38%のニュータウン西区など、高齢化が顕著な自治会がある。

議員 認知症の家族からの相談や情報提供のしくみは十分か。

町長 介護保険課窓口で介護支援専門員が常駐し、地域包括支援センターとともに、相談に対応できる態勢をとっている。

議員 地域包括支援センターは重要な機能を担うと思うがあまり認知されていない。また、町のホームページを見ても、地域包括支援センターが高齢者の総合的な相談窓口であることが分かりにくい。改善が必要ではないか。

介護保険課長 分かりやすい表示を検討したい。

が、管理や安全対策は十分か。
町長 街路樹の剪定を年に2回行い、その都度安全確認をしている。街路樹落下報道の後、打音検査も実施した。
議員 通学路の樹木の安全確認はなされているか。
教育委員会理事 4月に街路樹も含め、通学路の安全確認を行った。



もり けんじ
森 謙 二
議員

Q ゴミ袋の価格差で加入促進を

A 公平性の観点で実施は難しい

議員 自治会加入率を上げたい。そこで、店舗販売の指定ゴミ袋よりも安価な指定ゴミ袋を、自治会が自治会加入者に提供したとする。町の見解はどうか。

町長 同一の行政サービスに対して、自治会への加入者であるか否かで異なる手数料を徴収することになる。受益者負担の公平性の観点から実現は難しい。

議員 資源ごみの回収などは自治会が担っている。ところが、自治会未加入者にもゴミを出す権利がある。加入者は未加入者に不公平感を抱くのではないか。

生活福祉部理事 自治会は任意の団体。よって、不公平感は自治会のことと考えている。

訪問による勧誘

議員 未加入世帯を訪ねて加入を促す活動はしているのか。

町長 町による訪問活動はしていない。

議員 訪問の難しさは何か。
地域政策課長 自治会の人

未加入世帯を訪ねても、「留守が多い」「会えない」「会っても理解してもらえない」とのことだ。

議員 以前「宅建業者に協力を仰ぐ」との答弁があったがどういう取り組みか。

課長 長崎県宅建物取引業協会に加盟する町内の不動産業者の窓口にも、チラシやポスターを置いてもらい加入を促す取り組みだ。

議員 自治会に代わる受け皿はあるのか。

町長 代わりの受け皿を考え付くのは難しい。

Q 報奨制度で介護予防を充実せよ

A 現状に報奨制度は馴染まない

議員 被介護者の要介護状態を軽くし、被介護者数を減らす実績を上げた介護サービス事業者に対する報奨制度は、施策として取られているのか。

町長 介護認定は、正確性や公平性を期さなければならぬ。また、介護サービスは

「要支援者」と「要介護者」に分けられ、各人に適した異なるサービスとなる。そのため、報奨制度は馴染まず施策として取っていない。

議員 特定健診には、介護に関する診断項目はあるのか。
生活福祉部長 特定健診は、メタボリックシンドロームに着目した健康診断。心臓病や脳卒中等の生命に関わる疾患を早期に発見している。

議員 26年度の地域支援事業費は4500万円。24年度から増えていない。介護予防事業を展開して、もつと予算をかけていいのではないか。
部長 サポーターポイント制度は、今年度軌道に乗ったところ。今後の動向を見て予算を組みたい。予防については、いろいろな方向で事業を展開している。



介護予防で人生の花は咲く



うちむら ひろのり
内村 博法
議員

Q 新図書館建設場所は町有地にせよ

A 既存の町有地では確保困難

議員 町長は新図書館建設場所について、造成中の榎の鼻土地の約1万㎡とすることに決断した。しかし、今年1月に開催された議会報告会では、建設場所について住民より①子ども、高齢者等の利用を考えると高い所に建てるのは疑問がある②なぜアンケート調査をしなかったかとの意見があった。指摘は全くその通りであると考えますが、見解はどうか。

町長 ①については、総合開発審議会およびその専門部会であるコンパクトシティ構想推進委員会の答申や図書館機能および本町の地理的特性等を含め、総合的な判断により決定した。②については、各候補地の諸条件を理解の上で、回答してもらったことが困難であるため実施しなかった。

議員 土地購入費用がかからない町有地の選択はなかったのか。また、榎の鼻土地購入価格ならびに財源はどのように考えているか。

町長 既存の町有地を見た場合、本町の人口規模と今の

時代にふさわしい機能や駐車場を有した図書館整備に必要な用地をまかなうことは困難と考えている。購入価格は今後協議予定である。財源については可能な限り、有利な補助制度を活用すべく研究・検討していく。

議員 今回の榎の鼻土地購入については、昨年の議会ですら「この公益用地の約1万㎡購入については組合側からの申し入れもあり、23年8月29日

付けで購入すると文書で回答している」との答弁があった。当時すでに土地購入の双方の合意(約束)はあったと考えるがどうか。

町長 用地購入の意思はある旨回答している。しかし、「回答書」の文面の中には、「各項目における金額、面積、期間等は、今後継続して協議いたします」旨付記しており、金額等は、まだ決定はしていない。



新図書館建設場所は住民の声に傾聴せよ

Q どうする特養待機者対策

A 第6期介護保険事業計画で検討

議員 特別養護老人ホームへの入所を希望する待機者の実態と対策はどうか。

町長 待機者数は150名となっている。対策については今後、次期「長与町老人福祉計画・第6期介護保険事業計画」で検討する。

Q 町長と教育委員会の連携はどうか

A 町長意向汲みながら推進している

議員 教育委員会と町長の定期的な協議など相互に理解が得られているか。

教育長 定期的な協議は行っていないが町の行事等の際、町長と教育委員が同席する機会がたくさんあり、その場で積極的に話をしている。また、教育委員会としても町長の意向を汲みながら教育行政を推進している。



よしおか きよひこ
吉岡 清彦
議員

Q ちょっかんとうげん 直諫讜言して町長像を問う

A 民意を念頭に取り組む

議員 タビオ会長・越智直正は「人生とか経営で一番難しいのは、何が問題かを見抜くこと。問題さえ分かれば、馬鹿でも解決できる」と言っている。長与町における問題点は何か、解決できるのか。

町長 当面する課題としては、高田南土地区画整理事業の早期完成、西高田線の延長、新図書館の建設など、解決のために国や県、住民の協力が必要となる。力を借りながらまい進していく。

町長像

議員 古賀伸明連合会長が「民主は人馬を蓄えよ。次の次も政権取れぬ。ガバナンスに問題、野党はバラバラだ」と言っている。地方行政においても、職員の人材育成や町長としての在り方が問われている。どのような職員像を求め指導しているのか。また町長としてどのような理想像を持ち、努力しているのか。

町長 公平かつ公正に

町民視点で考え、地域課題を感じ取り、積極的に行動する職員を求める職員像と定めている。画一的でなく、誠意のある対応ができるよう指導している。

町長の理想像として、まず民意がどこにあるのか、何を求めているのかを常に念頭におき、町民との対話を大切にしなが、職員とともに取り組むことが責務と考えている。

資源化の見直し

議員 教育者ベスタロッチーは「一人を見捨てるるとき、教育はその光を失う」また、ドイツの哲学者ヤスパースは「重要になるのは、吟味し、

1. 燃えるごみ	… 毎週2回
2. ペットボトル	… 毎月2回
3. 資源ごみ (空びん、空かん、なべ類、古着類など)	… 毎月2回
4. 紙 (新聞紙、段ボールなど)	… 毎週1回
5. プラスチック製容器包装	… 毎週1回
6. 埋め立てごみ (ガラス類など)	… 毎月2回

長与でも身近なステーション回収を

訂正すること」と言っている。今、月1回の資源化物の拠点回収は、住民に負担や苦勞をかけすぎている。よって、住民の自治会離れや行政離れが進行している。見直すべきと思うがどうか。

町長 常設の回収拠点を増設するよう、自治会へアンケートを実施している。

Q 公園などにトイレの新設を図れ

A 考えはない

議員 道路脇や公園などを利用して、公衆トイレの新設が必要と思う。長与ニュータウンは高齢化が進み、必要と思うがどうか。

町長 難しい。また、ニュータウンについても設置はない。

交通安全の対策を

議員 横断歩道付近の街路樹は運転者から人が見えにくく、撤去すべきではないか。

町長 地域住民の意見を集約してもらい対処する。

Q テニスコートの冬の夜の夜間照明を

A 要望により対応していく

議員 文化の向上対策はどのようになっているのか。

教育長 施設の充実に取り組んでいる。

議員 新図書館の建設に向けて、その後どうなっているか。

テニスコートの夜間照明

議員 テニスコートの冬場の夜間利用を図るべきではないか。

教育長 要望が多ければ対応していく。



冬場でもナイターができればいいナー



のほる昇
さとう 佐藤
議員

Q 出席するのかマニフェスト検証会

A 検証会には出席する

議員 町長選挙の時

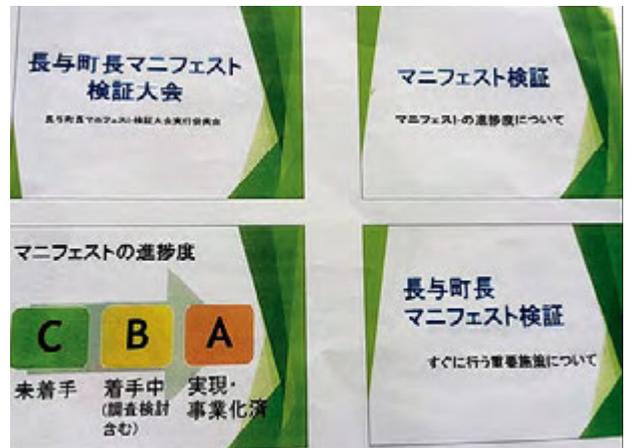
にはいくつかの公約を掲げていたが、4年任期の折り返し地点を迎え、検証する会を長崎青年会議所が計画しているが、町長はどう対応するのか。

町長 検証会を開催する意義は、住民が町政に対する理解と参画意識を高めることと、思っているの

Q どう進める図書館建設

A 28年度建設に向けて検討する

議員 図書館（生涯学習センター）の建設場所については3月議会において、榎の鼻の新しい団地内に建設すると表明した。一般的には、構想から完成まで最低5年はかかると思われる。建設に向けての進捗状況と、今後どう進めていくのか。



マニフェスト検証大会は7月28日開催予定です

町長 検討委員会で新図書館に求められるコンセプトや基本理念、各種サービスを検討してきた。26年度は、規模・設備計画の指針となる開架

冊数や蔵書構成などの数値目標について検討している。年内早い時期に最終の基本計画書（案）を作成する。

建設については、政策推進課所管となり、プロジェクトチームをつくり推進していく。26年度で基本計画・基本設計、27年度で実施設計、28

年度以降に建設できればと思っている。

議員 土地購入と建設費用で約20億円かかると推測する。災害時には町の最大の避難所になるとか、防災の面など考慮し早く国の有利な補助制度を探すべきではないのか。

副町長 そういふ助言をもらったこともある。一般財源が少なくてもある。一般財源が

Q 収入未確定ではつきり分からない

A 収入未確定ではつきり分からない

議員 26年度当初予算は120億円を超える本町始まって以来の最高額となっている。26年度の財政収支の予測と来年度以降の見込みを示せ。

町長 普通交付税の額、町税の収入額など歳入源が未確定である。はつきり分からないが、実質収支は黒字だが、実質単年度収支は赤字になると予測している。

議員 町債（借入金）が少しずつ増加しているが、今後どう推移するのか。

総務部理事 西高田線、高田南土地区画整理事業など継続事業があるので極端に減ることはない。

議員 24年度決算で町債残高は約137億円で臨時財政対策債を除いても約85億円となっているがどう捉えているのか。

理事 26年度末で約141億円の残高になる。

議員 決算ベースでどれ位の規模が適正と考えているのか。

町長 110億円前後である。

議員 財政見直しは何年分見込んでいるのか。

総務部理事 5年分である。

中心市街地活性化など調査

委員長 山口憲一郎

○調査期日

5月13日から15日

○調査場所

・滋賀県彦根市 ・兵庫県多可町
・奈良県生駒市

○調査目的

・中心市街地活性化
・第6次産業

○研修内容

中心市街地活性化

彦根市

・各種アンケートを実施し「彦根市中
心市街地活性化基本計画」を策定し
て各商店街の整備事業を行ってきた。
・土地区画整理組合を店主が設立し、
組合施行で地域住民主体のまちづく
りを行った。

生駒市

・生駒駅前100円商店街の取り組み
では、約80店舗の参加の元に商店街
全体を一つの100円ショップに見
立てて活性化を図っている。

・「いまこいバル」として25年は3回
のバルを実施し、約50店舗の参加で
盛り上げを図っている。
・「生駒まちゼミ」では、店舗の人が講
師となって、専門店ならではの専門
知識や情報、コッスを無料で提供し、商
店街全体の活性化を目指している。

第6次産業

多可町

・マイスター工房八千代を立ち上げ、保
育所や農協跡地を活用して、「地産地
消で収穫された材料に付加価値を高
めた商品しか販売しない」精神の元
に鯖寿司・鮭寿司・天船味噌・いち
じくジャムなど多数を販売している。
「材料を見捨てない」をモットーに年
間2億1千万円を売り上げている。

○研修を終えて

町の活性化に向けて、新たな取り
組みとしての第6次産業や自治体
ネット販売システムなど、自分たち
の町を自らの知恵で発展させていく
ことが大切であると感じた。



オープンデータの取り組みなど調査

委員長 佐藤昇

○調査期日

5月20日から22日

○調査場所

・岐阜県各務原市 ・福井県鯖江市

○調査目的

・ふるさと納税の取り組み
・オープンデータの取り組み
・タブレット端末の活用

○研修内容

各務原市では、ふるさと納税の
実績が20年度の10件、145万円
から、25年度には8139件、約
1億2000万円と急伸していた。
役所と企業がうまく協力して豊富な
品揃え(68点)をし、マスコミをうま
く利用し注目を集めていた。
また、クレジットカード・コンビニ
収納を導入し、簡単に納税できるよ
う工夫していた。

鯖江市ではオープンデータ（行政
機関が保有する情報）を積極的に公
開し、活用する先進的な試みを行っ
ている。これにより官民の協働によ
る公共サービスの提供、情報提供に
よる民間サービスの創出が促進され
る。公開したデータを利用して、民間
や個人がアプリケーションを作成
(約80種類)し、タブレット端末など

で利用できるようにしている。公園
等のトイレ情報、避難所の位置、A E
D情報、バスが、今どこを走っている
のかを知る位置情報等の提供を行っ
ている。

○研修を終えて

長与町のふるさと納税の実績は、
毎年20万円前後である。地場産業の
育成のためにも努力が必要である。
納税システムの構築や豊富な品揃え
など、寄付しやすい環境づくりが必
要であると考えた。

オープンデータについては、役所
が持っている専門的な数字を公開
しているのかと想っていたが、生活
に密着したものを公開していたのに
は、着眼点が違うと驚いた。先進的な
取り組みを行う市長の意気込みを感
じた。情報インフ
ラを進めている長
与町にも大いに参
考になると思う。

ただし、デジタ
ル情報に疎遠な住
民への情報提供に
も配慮が必要であ
ると感じた。



採択

賛成12・反対5 棄権1

「集団的自衛権行使容認に反対する意見書」の提出を求める請願

意見書要旨

安倍首相は、集団的自衛権の行使を禁止してきた従来の政府解釈は「適切ではない」と行使を容認する見解を発表した。

集団的自衛権の行使容認は、日本に武力攻撃がなくても密接な関係国と共に、武力を行使する事であり「海外で武力行使はしてはならない」という憲法上の歯止めを外すものである。

一内閣の判断で憲法解釈を自由勝手に変えることは、立憲主義の否定である。

軍事的対応への道へ進むことは、周辺国へ新たな不調和をつくりだす原因ともなる。世論の多くは9条改憲をのぞんでいない。

戦争のない平和なアジアと世界を願う私たちは、憲法9条を形骸化する集団的自衛権の行使を絶対に許さない。また明文改憲に反対し、憲法を守り、生かすことを強く求める。

可決

賛成10・反対8

労働者保護ルールの改悪に反対する意見書

意見書要旨

安倍総理は成長戦略の名のもとで、企業の都合を優先し、労働者保護ルールの改悪を次々に打ち出している。どれも労働者の生活を脅かしかねない内容である。次の事項について誠実に対応されるよう強く要望する。

一常用代替防止という労働者派遣法の趣旨を堅持すること。派遣労働者の労働条件の切下げや地位のさらなる不安定につながりかねない労働者派遣法改正案は、撤回すること。

二使用者側に立った法制度ではなく、働く人の立場に立った、本来の労働者保護の法制度と理念を維持すること。

三労働者保護の規制緩和については、人間らしい生活を継続的に営める安定雇用と安心して子育てができるなどの労働環境整備に向け慎重な議論を行い、その実現がされること。

四労働時間法制に関しては、労働者の生活と健康を維持するため、安易な規制緩和を行わないこと。

五全ての労働者について、同一価値労働、同一賃金原則を実現し、解雇に関する現行のルールを堅持すること。

26年6月定例会の議案および賛否

提案区分	議案	審議結果	齋庭敦子	安部都	内村博法	分部和弘	安藤克彦	金子恵	川井哲雄	森謙二	西岡克之	岩永政則	喜々津英世	佐藤昇	山口憲一郎	堤理志	西田敏	河野龍二	吉岡清彦	竹中悟	
執行機関	長与町税条例の一部を改正する条例の専決処分の承認を求めることについて	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	長与町税減免に関する条例の一部を改正する条例の専決処分の承認を求めることについて	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	長与町都市計画税条例の一部を改正する条例の専決処分の承認を求めることについて	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	長与町国民健康保険条例の一部を改正する条例の専決処分の承認を求めることについて	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	長与町工場等設置奨励条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	長与町地区計画の区域内における建築物の制限に関する条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	訴えの提起について	可決	○	▼	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議会	平成26年度長与町一般会計補正予算(第1号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	長与町固定資産評価審査委員会委員の選任について	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	人権擁護委員の推薦について	適任	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	都市計画道路西高田線橋梁下部工事請負契約の締結について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	都市計画道路西高田線切土工事請負契約の締結について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議会	「集団的自衛権行使容認に反対する意見書」の提出を求める請願	採択	○	○	○	○	○	○	○	○	■	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	労働者保護ルールの改悪に反対する意見書	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	集団的自衛権行使容認に反対する意見書	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

〔○賛成 ▼反対 ■棄権 -欠席〕

傍聴席から

初めて長与町の議会傍聴をさせていただきました。
「ヤジ」「居眠り」もなく、とても素晴らしい議会で
した。
(70代女性)

賛成・反対それぞれ討論
に立たれた議員さんはそれ
なりに勉強されての討論で
あった。感動した。
(70代男性)

議会の真摯な討論に
敬意を表します。
(70代男性)



皆様の感想は、抜粋・要約させていただきました。たくさんのご意見ありがとうございました。

次の定例会は9月上旬の予定です 傍聴をお待ちしています

6月議会の傍聴者は
延べ **112人** でした

議長交際費	26年4月1日から6月19日までの 総額と件数
寸志・慶祝など	100,000円 (20件)
弔慰	29,160円 (2件) (生花スタンド・香典など)
視察研修土産代	31,094円 (4件)
支出合計	160,254円 (13件)

議会情報を発信していますのでコメントをお待ちしております。

facebook いいね! をよろしくお願ひします

現在 **336名** (6月末)

<http://www.facebook.com/nagayochogikai>

QRコード

編集後記

広報委員会では、新たな取り
組みを模索しながら、毎回住民
の皆様にご覧いただいているよう
に親しまれる紙面づくりに努め
ています。現在、全国的に議会
改革が進み住民への情報発信は
コストを抑えながらも、あらゆる
手段を考え、積極的にを行うこ
とが必要な時代です。長与町議
会もSNSの活用、ユースト
リーム放映など「身近に感じる
議会」を目指し、まい進中です。
これからは皆様の期待にに応えら
れる紙面づくりを心がけます。

(金子 恵)

議会広報調査 特別委員会

委員長 饗庭 敦子
副委員長 堤 理志
金子 恵
川井 哲雄
喜々津 英二
森謙二



この「ながよ町議会だより」は、環境に配慮し再生紙と揮発性有機化合物を一切含まないNON-VOCベジタブルインキで印刷されています。